



窓って、なんだろう？
窓から、何が見えるんだろう？

マテックス株式会社

住まう人の、いきるを共に支える





窓から見える未来を、 ごいっしょに。

そもそも、窓ってなんなんだろう。何気なく暮らしになじんでいる透明な存在だけに、ちゃんと考えたことないってこと、あるかもしれませんね。でも、ちょっと想像してみてください。もし家に、窓がなかったらって。部屋に光が入らないから、気持ちがふさぐかもしれない。風が入らないから、空気がどんよりするかもしれない。街並みもモノトーンで、重苦しいムードになっているかもしれない。



私たちマテックスは、日本の建物に窓ガラスが広まりだした昭和のはじめに生まれました。ずっと時代と向き合い歩み続け、窓ガラスを通して見つめてきたのは、その先の社会です。熱を逃さず、健やかに過ごすことができる窓ガラスが広まり、これからは、発電する窓ガラスというものもあたりまえになるかもしれません。私たちの毎日に欠かせない窓だからこそ、時代を先取りする形で進化をし続けているのです。

卸に関わる専門商社だからこそ、できることもあります。販売店や工務店といった地域のパートナー企業のみなさんと、暮らしに新しい提案をするお手伝いもしています。東京の池袋にオープンさせた、HIRAKU 01 IKEBUKURO もそのひとつ。そういえば、窓のことってじっくり考えたことがなかったな、というあなた。ぜひ、ページをめくってみてください。窓から見える未来も、きっと変わってくるはず。

まずは、ガラスと窓を めぐる歴史をいっしょに

何気なく私たちの身の回りにある窓は、ガラスは、どうやって生まれて、どこに向かおうとしているのでしょうか。世界と日本、そしてマテックスが過去から現在まで辿ってきた道のりをふりかえるとともに、いま、そしてちょっと先までの動きを追いかけていきましょう。

START

世界

2600万年前

ガラスの起源は隕石衝突!?

天然のガラス「リビアンガラス」の起源は、隕石の衝突という説が有力です。



世界

B.C.3000-4000年

ガラスが作られ始める

古代エジプトやメソポタミアの遺跡では二酸化ケイ素から作ったビーズが出土しています。



世界

B.C.4世紀

窓ガラスが生まれる

古代ローマ人が板ガラスづくりに成功。しかし当時の技術ではまだ厚さにバラつきがあり、気泡や歪みもあったという。

日本

B.C.3世紀

日本にガラスがやってくる

日本最古のガラスは、弥生中期に中国からもたらされたガラス・ビーズだとされています。



世界

5~7世紀

窓ガラスの製造が躍進

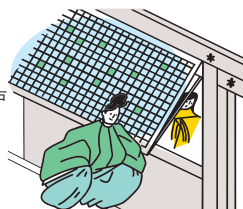
吹きガラスが発明され、透明で防水性が高い良質の窓ガラスがドイツで作られるように。

日本

9~11世紀

寝殿造の誕生

風通しが良いはね上げ式の蔀戸（しとみど）は、夏は快適でも冬は厳しかったようです。



世界

13世紀

windowという言葉が現れる

「window」という言葉は古代北欧語の「vindauga」（vindr = 風、auga = 目）に由来し、13世紀に初めて記録されたと言われています。

日本

14~17世紀

和室の原型「書院造」の誕生

室町時代中期に「書院造」で現れた書院窓は、採光と換気を兼ね備えた画期的な窓でした。

日本

1549年

ザビエル来日、ガラス輸入増

ヨーロッパとの交流が始まり、器やメガネなど多くのガラス製品が輸入されるように。



世界

17~19世紀

大型板ガラス製造が可能に

ガラスの製造技術が進み、最大4メートル幅の板ガラス窓が製造できるように。

世界

20世紀

自動成形機械の開発

成形機械が開発されて吹きガラスと大量生産方式の2つの製造が可能になり、ガラス産業は飛躍的に発展しました。

日本

20世紀

日本で窓ガラスが普及

日本では明治維新後、西洋文化の影響で障子から窓ガラスへの移行が進みました。



1923年以降

日本でガラス工業発展

関東大震災後、日本のガラス工業が発展し、生産が安定。一般家庭にも浸透しました。



1928年ここからマテックスの歴史が始まる！

1953年

日本初公共高層マンション

高層マンションが増えていき、日本の中で都市の風景が変わっていく起点となる出来事です。



1970年～

アルミサッシの普及

軽量で耐腐食性の高いアルミ素材が窓枠や雨戸に多用されるように。



2010年～

複層ガラスの普及

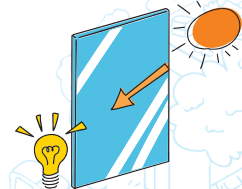
断熱性の高い複層ガラスが普及。熱伝導率の低い樹脂サッシが注目されるように。



2030年ごろ（近い未来）

「窓で発電」が可能に

紫外線と赤外線エネルギー源に「発電するガラス窓」の実証実験が始まる。



マテックスの歴史

● 1928年

松本硝子店板橋支店 設立

滝野川松本硝子店より独立。社員は社長含め3名。

● 1962年

木製サッシからアルミサッシへ対応

アルミサッシの取り扱いを開始。

● 1967年

住宅用アルミサッシの組立子会社設立

住宅用アルミサッシの販売を拡大するため、サッシの組立センターとして子会社を設立。※現新座営業所

● 1967年

本社倉庫建設

業界初となる、倉庫機能の大型化と合理化を推進。

● 1976年

ロイヤル建窓株式会社を設立

ビル用アルミサッシ事業へ進出するため、ロイヤル建窓株式会社を設立。

● 1996年

マテックス株式会社として発足

3社合併。社内公募によってマテックスという社名に決定した。

● 1998年

鳩山センターを開設

複層ガラスの一貫生産を行い、従来の卸売業にはない機能をもつように。

● 2009年

窓のリフォームを手掛け始める

窓のリフォームで、住まいをより健やかで快適かつ省エネにするお手伝いをスタート。

● 2014年

補助金の制度設計に参画

エコ窓の可能性にいち早く注目し、情報を蓄積。行政と連携しエコ窓の補助金制度を設計する。

● 2018年

鳩山センターで樹脂窓製造開始

関東においてさらなる高性能窓の普及を進めたいため、鳩山センターに樹脂窓製造ラインを設置。

● 2023年

HIRAKU 01 IKEBUKURO オープン

サードプレイスの新拠点として HIRAKU 01 IKEBUKURO『SOCIAL DESIGN LIBRARY』をオープン

● 2023年

鳩山センター第3工場新設

トリプル複層ガラスの製造が可能に。

いま目の前にあるガラス窓はどこから来て、どこに向かう？

ふだん、何気なく暮らしに溶け込んでいるガラス、そして窓は、どのような素材からできて、どのような人たちがつながり、関わることで私たちのところにやってくるのでしょうか。その旅路とマテックスの役割をご紹介します。

1

原料の調達

ガラスの主原料は、公園にある砂場の砂としても使われている珪砂です。その他、石灰やソーダ灰が使われます。

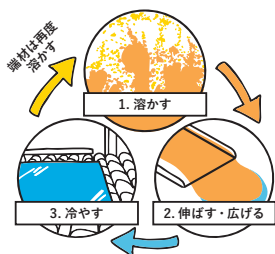


原料商社

2

溶解・製造

原料を混ぜて巨大な加熱室で溶解し、溶けたガラスを伸ばしてゆっくり冷やすと板ガラスが完成します。



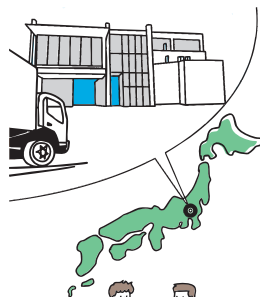
メーカー

3

MATEX

窓ガラスの仕入れ

お客さまのニーズに合わせて提案し、受注したものをマテックスがメーカーに発注すると、工場や営業所に届きます。



マテックス

新たな市場づくり

「エコソリューションとしての窓」を提案するパートナーを育成し、下請業から元請サービス業へのシフトを支援しています。



マテックスと窓の販売店

学び場の提供

持続可能な未来につながる商品やサービスをお届けする「マテックスフェア」を開催。販売店と共に地域企業として成長するための学び場を提供しています。



マテックスと業界の皆様

卸というポジションの マテックスだからできること

マテックスは、「窓」という暮らしに欠かせない製品を軸に、豊かな暮らしにつながる商品やサービスをお届けする商社です。また販売だけでなく、複層ガラスの製造やガラス加工、販売店などのサポートも。さらに、窓の魅力と機能を伝えることで、市場の創造にもチャレンジしています。

未来への情報発信

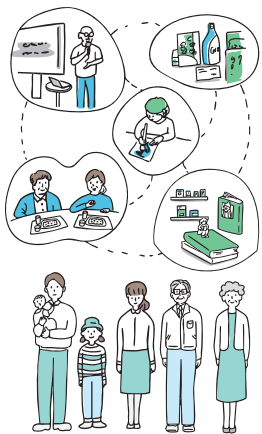
豊かな住まいづくりをテーマにしたセミナーやインターンシップを通じて、窓の可能性を生活者に発信し続けています。



マテックスと生活者の皆様

創業の地への貢献

創業の地である豊島区で地域の事業支援や地域の人々が集えるコミュニティスペースを運営し、社会との交流を進めています。



マテックスと地域の皆様

機能付加・配送

機能性ガラスの製造や加工を行い、販売店や工務店へトラックで安全に配送。商品を傷つけず届けることを大切にしています。



マテックス

4

提案・販売

生活者や工務店向けに暮らしを豊かにするガラス製品を販売。地域密着型で個別のニーズに応じた提案を行います。



窓の販売店

5

納品・取付

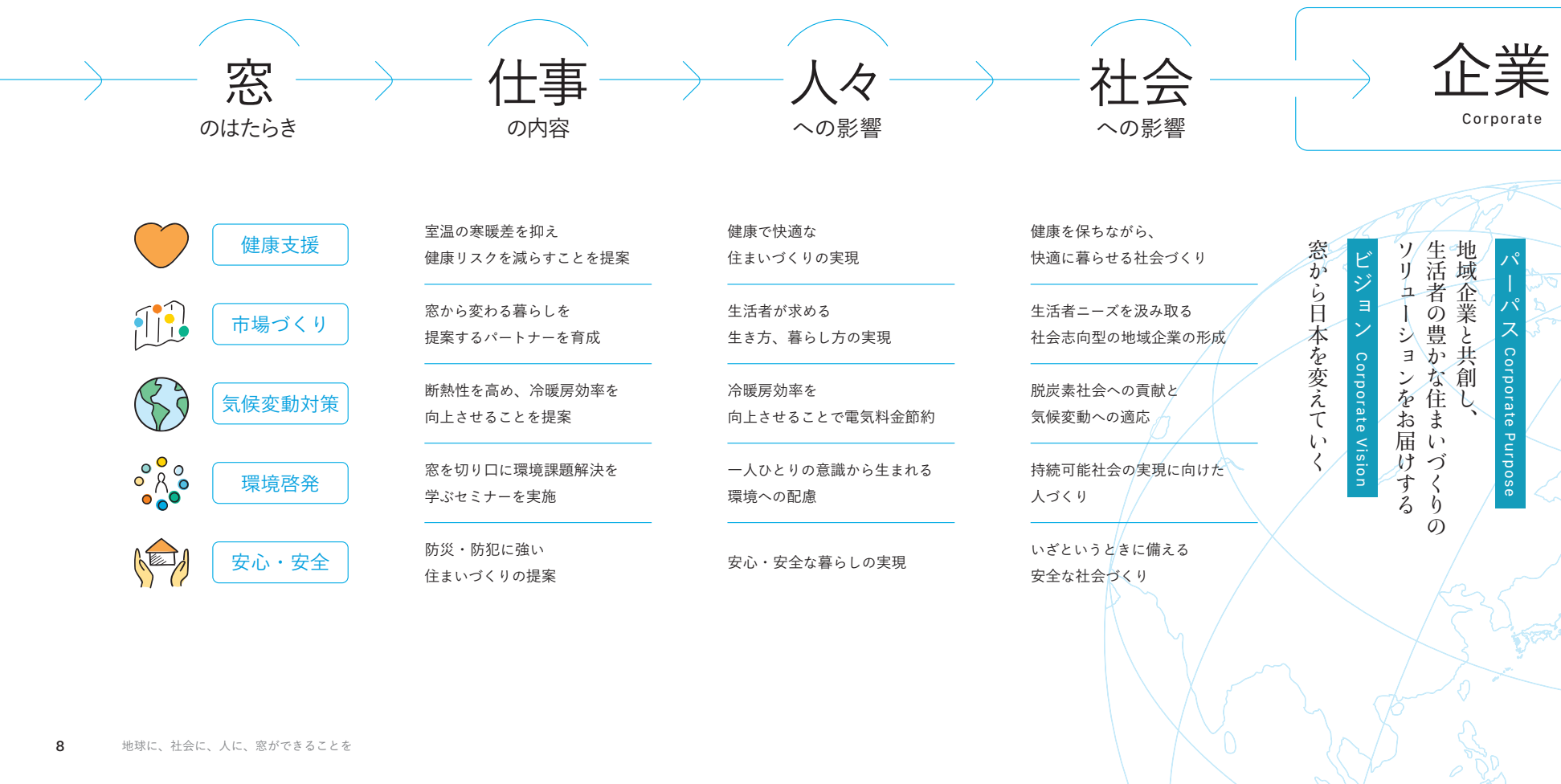
販売店とともにガラスの施工、取付、修理を行い、住宅や商業施設におけるガラス関連の工事を責任を持って手がけています。



工務店

地球に、社会に、人に、 窓ができることを

マテックスがめざすのは持続可能な暮らしへのシフトと地球環境の回復。そのため、地域企業と共創し、豊かな住まいづくりへの解決策をお届けすることで、卸売りの立場からお客さまや生活者、さらには社会に求められるものの先を追い求めていきます。



窓の可能性を追求する人を 育てる、マテックスカレッジ

企業人として、一人の人間として学び続ける人を応援するために。マテックスは社内研修システム「マテックスカレッジ」を開講し、評価制度を策定。マテックスカレッジでは、営業や製造など専門性を高めることはもちろん、めざす未来に向けた行動やあり方も追求します。

理念

Philosophy

経営理念 Corporate Principles

- ・窓をつうじて社会に貢献する
- ・「卸の精神」を貫く
- ・信用を重んじ誠実に行動する
- ・浮利を追わず堅実を旨とする
- ・人間尊重を基本とする

組織を活かす
力を育む



理念研修

マテックスの理念を追求しながら社会にはたらきかけるイノベーションを生み出すことで、持続可能な社会と経営を推進する力を育てます。

- ・パーパス研修
- ・TQC 研修
- ・経営理念浸透カフェ

人間的な
力を育む



人間力研修

実務に必要なことに留まらず、ヒューマンスキルやコンセプチュアルスキルに関する学びを通して、人間的な成熟をめざします。

- ・読書会
- ・セルフコーチング研修
- ・サステナビリティアカデミー

責任を担う
力を育む



等級別研修

経営やプロジェクト運営に必要なマネジメント知識を磨き、チームとして互いに成長を支え合いながら円滑に事業を動かしていく人間性を育てていきます。

- ・3年1人前研修
- ・5カ年教育プログラム
- ・係長研修（ファシリテーター）

専門的な
力を育む



職種別研修

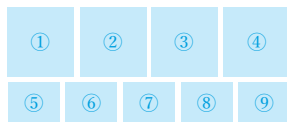
ビジネスの基礎から、マテックスの専門職種における能力開発、コミュニケーションやマーケティング力を身につけながら、一人ひとりの成長を図ります。

- ・営業研修（提案力）
- ・事務研修（CS）
- ・スタッフ研修（マーケティング）



風景から感じるマテックス

窓の専門商社といっても、どんなところなのか想像できないのではないのでしょうか。仕事の風景をのぞいてみたので、マテックスという会社の空気を感じてみていただければと思います。



①ガラスの加工はここから始まる / ②お客さまとの雑談から自然と企画に / ③社内研修の企画を作成中 / ④お客さまに高性能窓を提案 / ⑤複層ガラスの製造までを担い普及に貢献 / ⑥ご注文の電話口でも自然と笑顔がこぼれる / ⑦ガラスは切らずにパキッと / ⑧窓の可能性が広がるミーティングは楽しい / ⑨創業以来ずっとマテックス自らガラスをお届けしています

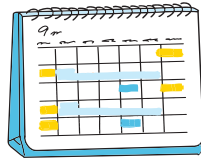
数字からわかるマテックス

マテックスって、どんな会社？数字というファクトから、マテックスの現場に迫っていきます。

(2024 年時点での数字です)

年間休日数

120日



ワークライフバランスが充実している職場で、休みは休みでちゃんと楽しもう、という社風です。計画的に有給休暇をとることも推奨しています。

成長実感率

80%



入社3年目を対象にしたアンケート結果によると、マテックスで働き、学び続けていく中で成長を感じている社員が80%にのびります。

育休取得率

100% 60%

女性

男性



育休が取りやすく、子どもが小学校を卒業するまで時短勤務ができる制度があるなど、子育てと仕事の両立がしやすい環境です。

気遣いを感じる

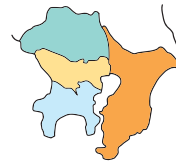
82%



社内アンケートの質問「職場の誰かが一人の人間として気にかけてくれる」に、YESと答えた人が82%。一人ひとりが尊重される文化があります。

拠点数

1都3県
10拠点



マテックスは東京・神奈川・埼玉・千葉に10か所の営業所や製造拠点をもち、配属先は居住地や希望などを考慮して決めています。

もうすぐ創業年数

100周年



暮らしに欠かせない窓や、窓まわりのサービスを届け続けてもうすぐ100周年。ニーズを先取りしつつ、業界をリードし、市場を広げる動きはこれからも。

入社 20 年目 営業所長
吉田さん

入社 2 年目 営業事務
水澤さん

入社 8 年目 営業
芳田さん

マテックスって、 ぶっちゃけどんな会社？ 社員のみなさんに聞いてみた

Q. どんなときに働くよろこびを感じますか？

吉田さん：メーカーだと自社の製品を売らないといけないのですが、卸という立場だと、いろんなメーカーの製品の中から、お客さまにとってベストだと思う製品をコーディネートできるんです。お客さまの満足のために自分なりに考えて提案できるので、仕事をしていて気持ちがいいですね。あと、街を歩いているときに、自分が手がけた窓が風景のひとつになっているのを見ると、うれしくなりますね。窓って、オフィスビルとか病院とか、建物の一部としてずっと残るじゃないですか。こないだうちの子どものに「あれ、パパの仕事なんだぞ！」って言ったら驚いてて、ちょっと誇らしい気持ちになりました（笑）。



Q. 職場の雰囲気って、どんな感じですか？

水澤さん：歴史が長い会社なんですけど、創業以来ずっと先の先を見て変わり続けてきたところがあるので、のびのびと挑戦できる風土がありますね。トライアンドエラーを繰り返しても、それを支えてくれる人たちがいるので、安心して、日々の仕事の中で成長していけるんですよ。熱いというより、あったかい人が多い印象ですね。社員同士がお互いを自然に褒め合うようなフレンドリーさに加えて、マテックスアカデミーという、成長を後押しする場があるところも大きいですね。会社のビジョンと自分の目標と重ね合わせながら、なりた
い自分になっていくことを応援してくれるのでモチベーションが上がります。

Q. 後輩となる、みなさんに期待していることは何ですか？

芳田さん：さまざまなメーカーや販売店の方とお仕事を通して、早い段階から視野を広げながら成長できるという実感はあります。成長の可能性があればどんどん若い人に任せる風土があるので、みなさんには思い切ってチャレンジしてほしいですね。窓やガラスというのは暮らしに密着しているものなので、常に社会のこれからを見つめながら変わっていかないといけないのが、私たちの会社です。未来をつくっていく役割も担っているとも言えるわけで。そういう意味では私たち自身も、新しく仲間になるみなさんから刺激をもらいながら、これまでになかったサービスを生み出していくことを楽しみにしています。

窓と社会のつながりを、いっしょに考えてみませんか？

マテックスが気になる！そんなみなさんと、私たちもつながりたい。

まずは、2つのQRコードからアクセスしてみてください。

窓の仕事に触れるインターンシップ



マテックスでは、「窓の可能性に気づく」「自分の可能性に気づく」ことができるインターンシップを実施しています。窓の可能性を知るワークや住まいづくりのソリューションを届ける営業体験などの各プログラムから、“知らなかった窓の一面”や、“知らなかった自分”を発見してください。



HIRAKU 01 IKEBUKURO でイベントに参加



マテックスが運営する学びと交流の拠点 HIRAKU 01 IKEBUKURO 『SOCIAL DESIGN LIBRARY』では、サステナブルな経営や働き方、ウェルビーイングなど、幅広いテーマでさまざまなイベントを開催。社員の多くもイベントに参加しているので、楽しみながらマテックスを体験できる機会として、気軽に参加してみてください。



さあ、私たちといっしょに、窓から日本を変えましょう。

あたりまえのように身の回りにある窓やガラスは、なくなったら社会は成り立たないというくらい、社会性が高い商材です。脱炭素社会へのシフトやウェルビーイングの向上、減災を実現するソリューションとして、社会課題解決のカギを握る「窓」のあり方を提案し、広げていくことで社会に貢献したいと私たちは考えています。さまざまなメーカーや販売店というパートナーのみなさまとともにビジネスを展開する卸という立場だからこそ、できることがあります。マテックスを取り巻くサプライチェーンが一丸となって持続可能な社会をめざす流れをつくったり、地域企業のみなさまをサポートする活動を行ったりと、「共創共栄」の取り組みも進めています。若いみなさんと共に、未来を切り拓くチャレンジができることを楽しみにしています。

松本 浩志 マテックス株式会社 代表取締役社長

1972 年生まれ。米コロラド州立大学にてマネジメント専攻、アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院修了、MBA 取得。1998 年帰国し大手電機メーカーに 4 年間勤務した後、2002 年マテックス入社。基幹システム開発や営業を経て 2005 年経営企画部部長と同時に取締役就任。2006 年常務取締役、2009 年より現職。



